

## 若手女性科学者の研究活動称える ロレアル・ユネスコ女性科学者 日本奨励賞



(左から) 梶原さん、杉村さん、ベアトリス・ル・フラペール・デュ・エレン大使、ジャン＝ピエール・シャリトン代表取締役社長、大蘆さん、桐野さん

第21回「ロレアル・ユネスコ女性科学者日本奨励賞」授賞式が9月2日、東京都内の駐日フランス大使公邸で開催された。

同賞は、日本の若手女性科学者の研究活動継続の奨励を目的として、日本ユネスコ国内委員会の後援の下、日本ロレアル(株)が創設したもの。授賞式では、ベアトリス・ル・フラペール・デュ・エレン駐日フランス大使やジャン＝ピエール・シャリトン日本ロレアル(株)代表取締役社長からあいさつが、原克彦文部科学省国際統括官から祝辞が述べられ、受賞者4名に賞状と盾が授与された。受賞者は次のとおり。

【物質科学分野】

- 梶原美紀さん (中央大学大学院理工学研究科)
- 杉村晴菜さん (奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科助教)

【生命科学分野】

- 大蘆彩夏さん (岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域助教)
- 桐野 桜さん (東京科学大学大学院医歯学総合研究科プロジェクト研究員)



パネルディスカッション。人づくり、産学融合、社会実装・市場創出をテーマに話した

による市場縮小、相次ぐ自然災害、また、厳しい国際情勢といった課題がある中、提言では2040年に向けた日本の国家像を提示。

2040年に国民による研究開発投資を対GDP比5%、年間投資額50兆円へと拡大する目標値を設定するとともに、科研費や運営費交付金の拡充、さらには「科学技術省」の設立などを政府に訴えている。

シンポジウムはこの提言を踏まえて実施されたもので、産官学の代表者らが科学技術立国の実現に向けて議論を深めた。冒頭、経団連の筒井義信会長があいさつし、「我が国が将来にわたって存立と繁栄を確かなものとするには、『投資牽引型経済』への転換を進め、研究開発投資を起点に成長と分配の好循環を形づくると同時に、科学技術の力による新たな価値を世界に提供し、国際社会から信頼され、必要とされる国になる。これこそが我が国の進むべき必須の道筋だ」と語った。さらに「我々経済界・企業がフロントランナーとなって、科学技術立国への前進を加速させてい」と意欲を示した。

シンポジウムでは、2025年ノーベル化学賞を受賞した京都大学の北川進特別教授による基調講演が行われたほか、経団連副会長で科学技術立国戦略特別委員長を務める澤田純氏、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局長の井上諭一氏らによるパネルディスカッション「科学技術立国の実現に向けた産学官の課題と展望」が行われた。

経団連主催

## 科学技術立国シンポジウム

日本経済団体連合会は9月2日、都内で「科学技術立国シンポジウム」を開催した。経団連は今年5月、提言「科学技術立国戦略」を取りまとめた。人口減少や少子高齢化